

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.03.03-03.14

*記事は東京発行・最終版



3月4日(火)

日産、デザイン拠点分離
中英米で新体制／2ブランド差別化

日産自動車は、高級ブランド「インフィニティ」と日産ブランドのデザインスタジオを分離する。日英米の4カ国にデザイン拠点を持つ。別のスペースを確保。内外装を差別化。(6面)

L G化学、中国バッテリー工場
E V用／環境対策でニーズ

韓国・L G化学は、中国でE V用バッテリー工場の建設を検討。中国政府が大気汚染対策に取り組む中、需要が見込めると判断。G Mや仏ルノーにE V用バッテリーを供給している。(時事＝6面)

中国でヘルスケア製品
ジーンテックノ／現地企業と提携

ジーンテックノサイエンスは、中国でヘルスケア製品事業に乗り出す。商品開発や販売で地元の生薬原料製造販売大手、グローバル・ファーム・ホールディングス・グループと提携に合意。(12面)

荒川化学、中国で粘接着付与剤
生産2000㌧／水系樹脂を開拓

荒川化学工業は、中国で有機溶剤のト



ミャンマー・ヤンゴンで開かれた日韓連携セミナー

ルエンやホルムアルデヒドを含まない粘接着付与剤の生産を始める。専用設備を導入する。生産能力は年1000 2000㌧。水系樹脂市場を開拓する。(13面)

3月5日(水)

弘輝、蘇州に新工場

ハンダ材料／1.5倍

弘輝は、金属接合材料の中国工場を4月に移転・拡張する。蘇州に新工場。ハンダ材料の有鉛・無鉛ソルダペーストの生産能力を既存工場の1.5倍に。日欧米の進出電子機器メーカー向け。(7面)

追加型ビル用マルチエアコン
富士通ゼネラル／中国向け

富士通ゼネラルは、中国向け追加型ビル用マルチエアコン「AIRSTAGE JVR II」シリーズを発売した。高い省エネ性能と施工の自由度を高めた業務用空調機システム。年産1000台を予定。(8面)

3月6日(木)

中国の新車販売、2月大幅増

日系5社／前年の反動

日系自動車メーカー5社の2月の中国

日系自動車メーカーの2月中国新車販売	
日産	71,900(55.6)
トヨタ	51,900(43.1)
ホンダ	40,858(27.6)
マツダ	9,849(15.6)
富士重	3,197(43.2)
*単位台、カッコ内は前年同月比増減率%、†はマイナス	

での新車販売台数は、マツダを除く4社が前年同月実績を上回った。昨年は日中関係悪化で影響が残っていたため、前年を大きく上回った。(5面)

3月7日(金)

旭硝子、上海に技術センター
化学品／地域に密着

旭硝子は、上海市に化学品事業のテクニカルセンターを開設する。中国での同社化学品の売上高はフッ素系機能化学品を中心にこの数年で倍増。地域に密着した技術サービス体制を強化。(11面)

北京で自動車リサイクル構築
N E D O ・豊田通商

N E D O は、豊田通商と共同で、中国の北京市内で高効率の自動車リサイクルシステムを構築した。前処理からフロン



3月3日(月)

独ZF、アジア比率35%に

9速AT、日本車に拡販／新工場も

独ZFは、日本車への販売拡大や自動変速機工場の新設で、アジア・太平洋地域の比率を約20%から10年後をめどに35%に引き上げる。9速ATは最大トルク480㌧に対応する。(5面)

「B 777」など27機を導入
ガルーダ・インドネシア航空

ガルーダ・インドネシア航空は、米ボーイングの大型機「777 300ER」型機など2014年度に新たに27機を導入するなどを柱とした経営計画を策定した。6月に羽田 ジャカルタ線を就航。(12面)

ミャンマーに段ボール工場
丸紅／年2500万㎡

丸紅は、ミャンマーで現地企業と合併で、ヤンゴン市郊外のミンガラドン工業団地に段ボール加工会社を設立する。年間2500万平方㌦の生産能力を持つ工場を建設、2015年6月に稼働する。(12面)

3月4日(火)

超小型E Vで日本進出

台湾・東元電機／日本の商社と協力

台湾の大手電機メーカー・東元電機は、大手商社とE V事業で日本市場に参入する。電動バイクや集配車などの街乗り用をターゲットに東元にモーターなどの駆動システムを供給。(1面)

日韓で第三国市場を開拓
中国に対抗／リスクを軽減

日本と韓国の経済交流団体が、日韓連携でミャンマーなど第三国市場を開拓する可能性を模索し始めた。リスクを軽減できるほか、中国に対抗する上で日韓が組む意義は大きい。(3面)

豊田鉄工、タイ新工場
自動車用プレス部品

豊田鉄工は、タイで自動車用プレス部品の生産を2015年に始める。約34億円投資。バンコク東部に工場を建設。ブレーキやクラッチなどのペダルをトヨタ自動車の現地工場に納入。(6面)

タイのセブンに新型POS
N E C／1万店規模

N E Cは、タイのセブン・イレブンを運営するC Pオールから、省スペースのPOS端末を受注した。1店舗に2、3台設置してある。約7500店を運営。1万店に拡大する計画がある。(9面)

帝人、セパレーター増産
二次電池向け／韓国で2系列化

帝人は、リチウムイオン二次電池向けセパレーター「リエルソート」の生産増強する。韓国の生産拠点では電子機器用途向けなどを中心に数量が順調に伸びており、2系列目を検討。(13面)

J Xエネ、インドに販売合併
潤滑油／日系自動車など向け

J X日鉱石油エネルギーは、インドに合併で潤滑油の販売会社を設立する。現地の潤滑油大手メーカーと覚書。現地の日系自動車などに「E N E O S」ブランドなどの潤滑油を供給している。(15面)

パイオコックスを実証生産

近畿大・大阪ガスE G /マレーシア

近畿大学と大阪ガスエンジニアリングは、バームヤシ原料のパイオマス燃料「パイオコックス」をマレーシアで実証生産する。パイオコックスは発熱量が高く、低コスト生産できるのが特徴。(15面)

3月5日(水)

マレーシアL N Gプラント再生
日揮／200億円

日揮は、マレーシアでL N Gプラントの能力再生プロジェクトを受注した。国営ペトロナスが保有する世界最大級プラントの一部、低温熱交換器などを入れ替える。受注額は100億 200億円。(1面)

新設計手法、インドネシアに
日産・仏ルノー／14以上の工場に

日産自動車と仏ルノーは、両社の年間生産台数のうち、新設計手法を適用した生産台数の比率を2020年に7割にする。現在の4工場からインドネシアなど14以上の工場に拡大する。(5面)

王子、ミャンマーに新工場
段ボール／6700万㎡

王子ホールディングスは、ミャンマーに現地法人を設立し、段ボール工場を建設する。年産能力は段ボールシート貼合が4200万平方㌦、段ボールケース製函が2500万平方㌦。(11面)

Y K K設備投資、アジアに64%
ファスナー事業／新興国開拓

Y K Kは、2014年度の設備投資額を32%増の897億円とする事業計画。衣類などのファスナーは450億円を投じる。このうち64%をアジアに充て、新興国でファスナーを拡販する。(12面)

渋滞情報、アジアで拡充
豊田通商／G P S活用

豊田通商は、G P Sを用いて自動車向けに高精度の渋滞情報を配信するサービスを拡充する。タイやインドネシアで展開。新興国では自動車が拡大の一方、慢性的な交通渋滞が社会問題化。(13面)

3月6日(木)

三井造船、台湾社から4基受注
コンテナクレーン／10年ぶり

三井造船は、台湾最大のコンテナ船運航会社・エバーグリーンから約10年ぶりに小型コンテナクレーン4基を受注した。受注額は6億円規模。世界シェア7割の中国Z P M Cを退けて獲得。(1面)

三菱レイヨン、アジア最適生産
アクリル樹脂原料／設備効率化

三菱レイヨンは、アクリル樹脂原料M M Aモノマーの生産コストを削減する。2015年度までにシンガポールと中国拠点で生産効率化。世界の生産拠点の運営を一本化する専門部署を新設。(11面)

東洋製缶、インドネシア新工場
ブラキャップ

東洋製缶グループH Dは、インドネシアにプラスチックキャップの製造販売会社を4月に設立する。子会社2社と香港企業が出資する。飲料市場が急拡大している現地需要を取り込む。(11面)

日成ビルド、シンガポール現法
駐車場の開発や投資

日成ビルド工業は、シンガポールに駐車場の開発や投資を行う現地法人「アジア・パーキング・インベストメント」を設立した。中国や東南アジアでの駐車場

事業を支援する。(13面)

3月7日(金)

韓国とT P P 予備協議

日本から輸出品の関税引き下げ念頭

政府は、韓国とT P P 交渉に関する初めての予備協議を都内で開いた。日本側は鶴岡公二首席交渉官らが対応した。日本から輸出する自動車など工業品に対する韓国の関税引き下げが念頭に。(2面)

ラオスで投資フォーラム

人件費・電力料金安く／日商など

日本商工会議所とラオス計画投資省などは、ラオスの首都ビエンチャンで「ラオス経済・投資フォーラム」を開催した。ラオスは人件費がタイの3分の1、電力料金はタイの半分程度と低い。(3面)



約120人が参加したラオス経済・投資フォーラム

J F E エンジ、棧橋の改修受注
ミャンマー／フェリー用

J F E エンジニアリングは、ミャンマーで港湾のフェリー用棧橋の改修工事を受注した。O D Aの一環。住民がヤンゴン市街地に行くため。2基の棧橋や連絡橋、旅客ターミナルを新設。(6面)

J F E、印チェンナイに拠点
日産・現代自・フォードなど進出

J F E スチールは、インドのタミル・ナードゥ州の州都チェンナイに営業拠点を開設する。自動車生産拠点の一つであり、日産自動車や現代自動車、フォードなどの進出が相次ぐ。(11面)

3月10日(月)

I H I、低品位炭の乾燥実証
インドネシア石炭火力発電所

I H Iは、インドネシアの石炭火力発電所で低品位炭を独自技術で乾燥させる実証試験に乗り出す。インドネシア国営電力会社傘下の出力31万5000㌦22級発電所に乾燥機器を導入する。(1面)

ビジネスジェット関連アジアに
カナダ内外装会社／シンガポール拠点

北米の航空機関連企業が、アジアで高まるビジネスジェット需要の取り込みに動いている。カナダ内外装会社・フライング・カラーズは、夏にはアジア初の拠点としてシンガポールに進出。(5面)



ビジネス機を好みの内装に仕上げる(フライング・カラーズ)

世界最大の化学プラント建設

三井造船／シンガポール

三井造船はシンガポールで化学プラ

トの建設を受注した。米エクソンモービルのグループ会社が計画する、タイヤの原料と接着剤用特殊樹脂を生産する。生産設備としては世界最大規模。(7面)

カバーガラス、韓国に移管
米コーニング／静岡、一部を閉鎖

米コーニングは、スマートフォンなどに使うカバーガラス「コーニングゴリラガラス」の生産をコーニングジャパンの静岡工場から韓国・牙山工場に移管する。静岡工場の一部は閉鎖の予定。(10面)

3月11日(火)

シンガポールに4万㌧設備

低燃費タイヤ原料／住友化学

住友化学は、シンガポールに新設した低燃費タイヤ原料の溶液重合合法スチレンブタジエンゴム(S S B R)生産設備(年産能力4万㌧)の開業式を行った。約100億円を投資。(11面)



新設したシンガポールの生産設備(住友化学)

タイに非鉄金属材料の販社
白銅／液晶製造装置向け

白銅は、タイに非鉄金属材料の販売子会社を10月に設立する。半導体・液晶製造装置関連の顧客がタイに進出する見込みで、駐在員事務所を閉鎖し子会社を設けることで顧客対応を強化。(11面)

「クール宅急便」国際展開
まず台湾から／ヤマト

ヤマトH Dは、台湾で冷蔵・冷凍品の宅配便「国際クール宅急便」を始める。A N Aの貨物拠点「沖縄貨物ハブ」を活用し、生鮮食品などを保冷・貫輸送して発送日の翌日に届ける。(12面)

ミャンマーに炭酸飲料合併
アサヒグループH D

アサヒグループH Dは、ミャンマーの飲料大手ロイヘインと合併で、炭酸飲料の製造販売会社を設立する。ロイヘインは同国第2の都市であるマンダレーで販売力がある。(13面)

三井住友銀行がイスラム金融
マレーシアで開始

三井住友銀行は、「イスラム金融」の業務をマレーシアで始めた。イスラム法では利子の概念を禁止し、アルコールなど教義に反する事業に関与する取引を禁止している。(15面)

3月12日(水)

ファインシンター、タイ新工場
自動車用粉末冶金部品

ファインシンターは、タイ・ラヨーン県に自動車用粉末冶金部品工場を2015年をめどに新設する。30億 40億円投資。トヨタ自動車やトヨタ外の1次サプライヤーに部品供給が増える。(5面)

キャタラー、触媒の新工場
インド／2輪車用

キャタラーは、インドのカルナタカ州に2輪車用メタルハニカム触媒を製造、販売する新会社を設立した。2015年12月

などの有害物処理、車体裁断、廃タイヤの破砕まで一貫して行う。(17面)

3月11日(火)

パワー半導体を自社生産

トーア紡／月産能力6万個

トーア紡コーポレーションは、電動工具向けパワー半導体を中国で自社生産する。正豊五金塑腔に約1970万円出資し、合併会社化。専用設備を導入した。月産能力5万 6万個。(8面)

3月12日(水)

中国、預金金利を自由化

1、2年で実現

中国人民銀行(中央銀行)の周小川総裁は、全人代に合わせて記者会見し、金融制度改革の柱である預金金利の自由化について「今後1、2年で実現できるだろう」との見通し。(時事＝3面)

3月13日(木)

大型プレス機12台、中国で受注
H & F /台湾社瀋陽工場

エイチアンドエフは、中国で東風本田汽車と、台湾プレスメーカーの聯恒工業の瀋陽工場向けに大型プレス機を12台受注した。現地は自動車生産が好調でプレス機の需要が旺盛に。(5面)

稼働を予定。次期排ガス規制の導入に伴う需要増加に対応する。(5面)

L N G基地の増強工事を受注
東洋エンジノインド

東洋エンジニアリングは、インドでL N G受け入れ基地の能力増強工事を受注した。受け入れ能力を年産1000万㌧から1500万㌧に引き上げる。受注額は100億円台。(6面)

上下水道の統合監視を受注
横河電機／インド

横河電機は、インドのベンガルール上下水道局から上下水道の設備全体を統合監視するシステムを受注した。産業発展と人口急増で、頻繁な断水など水不足の問題を改善。(6面)

ウェブT V会議、韓国に展開
ブイキューブ／第1弾ハンミ製菓

ブイキューブは、ウェブ経由でテレビ会議などが簡単に利用できるサービス「Vキューブ」の海外展開で、韓国のトイ&代理店契約を結んだ。韓国の大手製菓会社のハンミ製菓に提供。(9面)

環境協力で都市間連携
インドネシアと協力

環境省は、インドネシア環境省と、環境協力で都市間連携を推進する。両国の自治体をマッチングし、両国企業が協業できるように。日本の環境技術を保有する企業の海外展開を後押し。(13面)

「スーパードライ」アジア1.3倍
アサヒ／2014年度400万㌧

アサヒグループH Dは、「アサヒスーパードライ」について、海外での販売数量を2014年度に約1.4倍の同900万㌧(1㌧は大瓶20本換算)を目指す。アジアも同1.3倍強の400万㌧を計画。(15面)

吉本製作所、ベトナム進出
現地4社に金属加工委託

吉本製作所は、ベトナムに進出する。6月にホーチミン市に事務所を置く。日本で受注した金属加工をベトナムの現地企業4社に委託する。コストを約30%削減できる見込み。(25面)

3月13日(木)

サンワテクノス、台中市に拠点
インバーター／電機・機械集積

サンワテクノスは、台湾台中市に営業拠点を新設した。電機や機械関連の製造業が集積する台中地区の企業にインバーターやサーボモーターなどを拡販する。台北と台南に続く3カ所目。(8面)

福島工業、タイに新工場
ショーケースなど／年4000台

福島工業は、タイで業務用冷凍・冷蔵庫などを生産する新工場を建設する。冷凍・冷蔵庫やショーケースを年間4000台規模で生産する。2015年6月操業。総投資額は約7億円。(9面)

3月14日(金)

「787」の燃費を検証

エア・インディア

エア・インディアは、ボーイングの中型旅客機「787」について機体重量が当初契約より重くとして、燃費効率の検証を実施。機体納入遅れで既にボーイングから賠償を受けている。(時事＝6面)

「737MAX8」42機を受注
インド格安航空から

米ボーイングは、インドの格安航空会社スパイスジェットから単通路機「737

今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
次回は31日(月)に掲載します。

建機、春節明け商戦本格化
コマツ2.2倍／日立建機76%増

中国で建設機械の春節明け商戦が本格化。2月の油圧ショベル(6㌧以上)はコマツが2.2倍、日立建機は76%増といずれも大幅なプラス。春節の時期が異なり、販売シーズンが早まった。(6面)

堀場、医用機器を中国生産
現地向け戦略機・炎症マーカー

堀場製作所は、上海工場で医用機器の生産を始めた。中国向け戦略機の血球計数C R P(炎症マーカー)測定装置をノックダウン生産し、急成長する中国市場で安定供給体制を固める。(10面)

ひと

日本のビジネスモデルが通用

「中国でスマートフォン向けゲームが伸びている」と、D 2 C社長の宝珠山志志さん。基本プレーは無料だが、アイテム課金型で楽しむユーザーも多い。「中国は市場が大きい。高機能端末も普及してきた」。日本のビジネスモデルが通用する環境が整ってきた。(4日＝11面)

MAX8」42機を受注した。表示価格で44億%。737MAXの受注は1800機を超えている。(時事＝6面)

ベトナム人研修生、堺で研修
I H Iインフラ／現地中核人材に

I H Iインフラシステムは、堺工場でベトナム人研修生の長期受け入れを始めた。3年。現在14人が溶接工程などで勤務。3年後には50人規模に。帰国後は現地グループ会社の中核人材に。(7面)

ハイアールアジア、3市場戦略
最重点にタイ・インドネシア

ハイアールアジアインターナショナルは、3市場に分け戦略を展開する。最重点市場としてタイとインドネシア。重点市場は日本とベトナム、成長市場はマレーシアとフィリピンとする。(11面)

鴻池運輸、タイ進出を支援
合併で事業投資会社

鴻池運輸は、タイに進出する日系企業向けの支援事業を始める。現地の農業メーカーと合併で事業投資会社。現地法人を設立する際の合併パートナーになるなどタイ進出を支援する。(16面)

センコー、韓国・釜山に物流施設
F T Zの利点生かす

センコーが、韓国の釜山新港で建設していた物流施設「K O S E N K O物流センター」が完成。港湾内は自由貿易地域。韓国の国内向け配送、日韓の輸出入、港湾荷役、物流サービス。(16面)



韓国・釜山新港に完成した物流施設「K O S E N K O物流センター」(センコー)

TELOP

「ハラル」認証和菓子を提供
A N A(4日15面)

ベトナムで職場体験
大阪経済法科大(4日19面)

日立キャピタル、マレーシア支店
建機・情報機器リース(5日15面)

G M Bコリア、ルーマニアで生産
自動車部品(10日5面)

第一生命、ベトナムに子会社
資産運用／分社化(12日19面)

ひと

モノづくりを軽く見すぎ

「雇用を増やすことを政府が必死に考えていた」と感心するのは、堀場製作所会長兼社長の堀場厚さん。ただこれは、同社がこのほどインドで工場進出の際に感じたこと。「日本はモノづくりを軽く見すぎだ」と、温度差が歯がゆい様子。(3日＝6面)

都会派イメージ

「韓国で売られている「スーパードライ」は価格が現地ビールの2倍以上。しかし都会的なイメージが受けて売れている」と、アサヒビール取締役の池田史郎さん。「商品イメージが大切。おいしさとともに高級感、都会派イメージを売り込みたい」。(13日＝13面)